

卒業制度について

開塾当初の慶應義塾には、等級によって学習段階が設定されていたものの、その課程を終えれば独学しながら後輩を指導するという「半学半教」が重視されていたため、明確な卒業の規定は存在しませんでした。

1873（明治6）年の学則改定によって「此学校にて本等の業を全く終りたる者へは成業の免状を与ふべし」と成業免状の規定が設けられたことで「卒業ノ証書」が与えられることとなり、1874（明治7）年に第1回の卒業生7名を送り出しました。

後に塾長となる鎌田栄吉が1875（明治8）年に卒業した際、福澤諭吉から「諸君は皆今度卒業といふことになったが、この卒業といふことは学問をそれで終つたのでも何でもない、先づ階段の一番下の段を一つ上つた位のものである。これからが学問である」と諭されたことから、卒業は本格的な学問への第一歩であるという考え方が現れているといえます。

卒業生数は、1890（明治23）年に大学部が発足すると一段と増えることとなり、1922（大正11）年までに5,565名の卒業生が輩出されました。

1920（大正9）年に設立された大学（旧制）での卒業生は30,880名、大学（新制）では2020年までの卒業生の累計は約387,000名となっています。



住所変更等の届出

改姓または転居等で氏名や住所あるいは勤務先の変更があった場合は、以下のいずれかの方法で塾員センターまでお届けください。

1. メールフォーム  <http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html>
2. FAX 03-5427-1546
3. 郵送 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾塾員センター

※1の方法による場合は、メールアドレスも塾員情報としてお預かりいたします。なお、2・3の方法による場合は、氏名、卒業年、学部、生年月日、自宅住所、自宅電話番号、勤務先を記載のうえ、お届けください。

社中の丘

『卒業生のページ』

Keio University



社中とは、慶應義塾を構成している全ての人を包含する総称です。
このページでは特に塾員（卒業生）の方に向けた情報をお伝えします。

✕ 三田会活動支援と個人情報保護の両立への取り組み

慶應義塾では、「氏名」「自宅住所」「勤務先」「メールアドレス」を、ご卒業後も塾員情報として、塾員センターのもとで確かにお預かりする仕組みをとっています。この仕組みのもとで、塾員お一人おひとりに、慶應義塾からのお知らせをお届けするとともに、三田会、クラス会などの同窓会活動を支援する取り組みにも活用しています。

三田会（同窓会）活動の支援について、例えば、地域で活動する三田会からその地域在住の塾員の皆さまに懇親会の開催案内を送付したい旨のご相談を受けることがあります。その場合、あくまでも

同窓会活動に限定のうえで、まず所定の書式に塾員であることが確認できた三田会役員の方複数名の署名捺印をいただき、さらに個人情報の管理体制について問題がないことを確認して認めることができました場合に限り、情報提供する方式をとっています。

今後も、同窓会としての三田会活動支援と塾員の皆さまの個人情報保護の両立とのバランスに十分に配慮したうえで、社中の皆さまの繋がりが広がるよう取り組んでいきます。また、三田会を統括している慶應連合三田会とも連携して三田会活動の発展に努めてまいります。

慶應オンラインを利用されている方へ

ご登録されているメールアドレスに慶應義塾からの情報や慶應連合三田会からのご通知などを発信いたします。何卒ご了承ください。何卒ご了承ください。

✕ 慶應義塾公式グッズのご紹介

慶應公式グッズ

検索

URL <https://keiogoods.jp/>



慶應義塾では、多数の公式グッズをご用意しています。売り上げの一部は奨学金として塾生に還元されています。お求めやすい価格帯のものから本格派まで、品揃えは多彩です。ここでは、おすすめ商品をご紹介します。

純米大吟醸 智徳 2020 (税込 5,800 円)

鶴岡タウンキャンパスの先端生命科学研究所開発のメタボローム解析を用いて作った最高峰の純米大吟醸です。



旧図書館大時計ペアグラス (〈名入れなし〉税込 7,350 円、〈名入れあり〉税込 8,150 円)

底面に三田キャンパス図書館旧館の大時計の文字盤とエンブレムをあしらったペアグラス。



ペンチャーム付き クリスタルペン (〈名入れなし〉税込 3,000 円、〈名入れあり〉税込 3,800 円)

ボディにクリスタルの粒が入ったボールペンです。上部に揺れるペンマークのチャーム付き。



ろんこそ 論語疏リングノート (税込 880 円)

日本国外で写された『論語』の伝世最古写本『論語疏』（慶應義塾図書館所蔵）のデザインに、福澤諭吉の書による「慶應義塾」の文字をあしらいました。



取り扱い・お問合せ先

慶應義塾三田
インフォメーションプラザ1階
電話：03-5427-1436

✕ 学事振興のさらなる発展に向けて

慶應義塾は、日本の高等教育の歴史において早くから学事振興に力を入れてきました。中でも「福澤諭吉記念慶應義塾学事振興基金」と「小泉信三記念慶應義塾学事振興基金」は長く義塾の教育研究の発展に寄与してきました。

福澤諭吉記念慶應義塾学事振興基金(福澤基金)

創立 100 年を迎えた直後の 1961 年、戦災を受けた施設の復興、充実が義塾にとって喫緊の課題であった中、当時の高村象平塾長は、「学事の振興、学者の育成は義塾百年の計である」ことを優先し、主に寄付金によって研究の振興、研究者の育成を目的として本基金を設置しました。

助成は、国外派遣留学者 4 名、研究補助 4 件、出版補助 2 件で始まりました。事業は塾長および塾長が委嘱する委員で構成される運営委員会により運営されています。現在の基金残高は、およそ 28 億円に上り、教職員の国外派遣留学、研究、研究成果の国際発信などの活動に対し、助成が行われています。

小泉信三記念慶應義塾学事振興基金(小泉基金)

1966 年に逝去した元塾長の小泉信三の遺徳と功績を顕彰し、その名を永く後世に伝えることを目的に寄付金によって設置されました。

本基金は、塾長および塾長委嘱の委員で構成される運営委員会により運営されています。小泉信三が学生の勉学とスポーツを奨励したことに鑑み、学問の奨励、体育活動の奨励、小泉信三賞全国高校生小論文コンテストの運営、外国人学者招聘費補助事業、小泉信三記念講座（公開講座）の開催など多彩な事業を実施しています。現在の基金残高はおよそ 24 億円になります。

世界の学塾として評価されるためには、将来を担う若手研究者や塾生を育む多様な教育研究プログラムを充実させる必要があることは論を俟ちません。しかし、現状では基盤となる自己資金が不足しているため、短期的・中長期的な双方の視点で基金のさらなる拡充を行う必要があります。この趣旨に広くご賛同いただきまして、塾員の方をはじめ、社中の皆さまからのご支援ご協力を賜りたく、何卒よろしくご願ひ申し上げます。

＜ご寄付について＞ 慶應義塾へのご寄付は税法上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。詳細は基金室 Web サイトをご覧ください。



【個人でお申し込みをいただく場合】

◎一口 1 万円（できたら三口以上）のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）

慶應義塾所定の「取扱票（兼申込書）」をお使いのうえ、最寄りの金融機関（銀行または郵便局）窓口からお振り込みください。

インターネット募金

慶應義塾基金室 Web サイト (<https://kikin.keio.ac.jp/ffkf/>) からお申し込みください。



【法人・団体でお申し込みをいただく場合】

◎詳細につきましては、お手数ですが、慶應義塾基金室までお問合せください。

お問合せ先

慶應義塾基金室

電話：03-5427-1898

メール：kikin-box@adst.keio.ac.jp

※福澤基金・小泉基金の重点的拡充のための募金キャンペーンは 2021 年 3 月末までとなりますが、それ以降も皆さまからご寄付のお申し出をいただいた際にはありがとうございますので、引き続きのご理解・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。